

活動名	令和4年度 森林・水産研究会 現地研修会
主催	日本技術士会東北本部岩手県支部 森林水産研究会
日時	令和4年10月14日(金) 8:30 ~17:30
場所	青森県中津軽郡西目屋村川原平外(白神山地ブナ林)
参加人数等	15人(本部会員13名 非本部会員2名)

活動内容

(1) 車中での話題提供

白神山地まで向かう移動時間を利用し、4名の方が話題提供を行い、車中で意見交換を実施した。

(往路)

①「除草剤等による下刈り作業の軽減について」外館聖八朗氏(株イワリン)
→岩手県の素材生産や再生林の現状、再生林時の下草刈の作業軽減策に関する取り組み

②「2021年8月に青森県下北北部で発生した土砂災害について」広瀬伸二氏(株メック東日本)
→昨年発生した災害状況と復旧計画に関する取り組み

(帰路)

③「林業分野におけるDX スマート林業・林業イノベーション推進 林業へのICT技術の活用について」安野雅満氏(株昭和土木設計)
→建設DXとスマート林業との対比や、スマート林業の取り組みの歴史、現在の状況

④「集水井工の維持管理・コンクリート塩分迅速調査技術」佐藤達也氏(国土防災技術株)
→三次元解析技術による点検手法や、コンクリート塩分の迅速調査について



ブナ林散策状況



車中での話題提供

(2) 世界遺産の径(みち) ブナ林視察

世界遺産である白神山地のブナ林現地を視察した。視察では、アクアグリーンビレッジ ANMON の工藤氏より、世界遺産の成り立ちや白神山地の現状、白神山地を生きる植物・動物・菌類等について、その生態や人々と白神山地のかかわり方、歴史など様々な解説を受けた。

今回の研修は、世界遺産である白神山地をじっくりと視察することができた。また車中の話題提供では活発な意見交換を行うなど、内容の濃い有意義な研修会を行うことができた。



集合写真

以上 (文責 森)